

令和 7 年第 3 回久米島町議会定例会一般質問

令和7年6月10日～6月13日

令和7年第3回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	田端努	1. 本町の観光振興基本計画について	6月10日(火)
		2. 外国人人材の受け入れについて	
		3. 本町の地域防災計画について	
2	真栄平建正	1. 堆肥等購入補助制度の公平な運用について	
		2. 海洋深層水の活用拡大による地域経済及び観光振興について	
		3. 支援員の待遇改善について	
		4. 久米島町空き家対策について	
3	盛本實	1. 本町の職員数について	
		2. 本町に存する自衛隊専用道路(通称)の民間使用について	
		3. 離島・過疎地域振興に関する要望事項に対して県の関係機関の措置状況及び今後の取り組みについて	
4	赤嶺秀徳	1. 観光振興について	
		2. 第3次久米島町観光振興基本計画について	
		3. 高速船について	

5	保久村登	1. 「阿嘉のひげ水」(一帯の地層・阿嘉層)について	6月10日(火)
		2. 真泊港の整備活用について	
		3. 真謝地区の農業用水の確保について	

令和7年第3回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地猛	1. 町民所得について 2. 上水道事業について 3. 道の駅について	6月11日(水)
2	喜久里猛	1. 伊敷索城址の今後はどうするか 2. 花咲港の新バースは使用の予定はあるか 3. 大田の離岸堤改修工事はどうなっているか	
3	喜久里強	1. 本町の海岸線の漂着ゴミについて 2. 本町における慢性的な人材不足について	

4	宇江原総清	1. 鳥島射爆場と政治	6月11日(水)
		2. 自然再生について	
		3. 宇根・真謝の県道の街路樹管理について	
5	新垣幸子	1. 防災意識を高める講座の開催について	
		2. 職員の意識向上改革について	
		3. 島内老舗事業所への支援について	
		4. 平和教育の取り組みと戦争語り継ぎ手の育成について	

令和7年第3回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	棚原哲也	1. 町営バスについて	6月12日(木)
		2. 奥武島の西海岸の環境保全及び国土の保全について	
		3. 車海老養殖について	
2	富永 肇	1. プロ、アマチュア野球キャンプについて	
		2. 久米島町長杯JTA・RACメモリアルカップ、リトルシニア野球大会について	
		3. 中学校部活動について	
3	吉永将志	1. 戦後80年の取組内容について	
		2. 結婚披露宴助成金について	
		3. 久米島町結婚生活支援事業について	
		4. 職員のパソコン技術向上の取組とオープンデータの推進状況について	
		5. シルバー人材センターについて	

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者
13	田端 努	1. 本町の観光振興基本計画について	<p>本町では2024年から2028年までの第3次観光振興基本計画を策定し、「持続可能な島の未来をつくる共創ツーリズム」に向けた施策に取り組み、更なる誘客を図っていくとしているが、以下の点について伺います。</p> <p>(1) インバウンド旅行者を含めた観光客に対して、ソフト面とハード面（主要観光地での駐車場・トイレ等）での取り組みの現状と、今後の計画はあるか伺う。 (2) 本年11月に予定している民間事業者による高速船就航に向けての本町の対応について伺う。 (3) 久米島まつりの運営事業者の選定方法と開催時期について伺う。</p>	町長
		2. 外国人人材の受け入れについて	<p>昨年同様の質問をさせてもらったが、この取り組みに対して進展が見られないとの意見や要望があり、本町行政として把握している現状と、取り組み等はないか以下の点について伺います。</p> <p>(1) 現在の外国人人材の受け入れ人数（職種別）は把握しているか。 (2) 外国人人材の住まいの現状は。 (3) 今後の行政としての取り組みを考えている事はあるか。</p>	町長
		3. 本町の地域防災計画について	<p>これまで地域防災に対して様々な形で質問・提案をさせてもらったが、以下の点について本町の考えを伺います。</p> <p>(1) 各地区に設置されている防災倉庫の運用方法が妥当であるか伺う。 (2) 防災を兼ねた大型物流倉庫の建設が出来ないか伺う。</p>	町長

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者
		1. 堆肥等購入補助制度の公平な運用について	<p>久米島町では、農業振興を図るため、除草剤、鶏糞などの農業資材に対する購入補助を行っているとお知らせしております。こうした制度は、地域農業の経費負担を軽減し、生産活動の継続を支える大変重要な施策であると評価しております。しかしながら、現場の農家の方々からは、「補助が全体に行き渡っていないのではないか、申請の早い農家が優先される」といった声が寄せられています。結果として、本来制度の恩恵を受けるべき対象者の一部が、制度を利用できていないという状況が生じているように見受けられます。そこで、以下の点について町の見解と対応策を伺います。</p> <p>(1) 制度の周知方法について 現在、堆肥、除草剤、鶏糞等の購入補助制度について、町はどのような方法で周知を行っているのかお尋ねします。また、すべての対象者に制度情報が適切に届いていると認識されているか、町としての見解を伺います。</p> <p>(2) 補助配分の基準と運用の透明性について 本補助制度の対象者や補助配分の基準はどのように設定されているのか、具体的にご説明ください。周知の方法についてもお答えください。</p> <p>(3) 申請手続きに関する対応について 補助申請の手続きについて、高齢の農家の方々や制度に不慣れな方でも申請しやすいような配慮はなされているか、申請サポート体制の整備についての現状と今後の対応を伺います。</p> <p>(4) 制度改善に向けた今後の取り組みについて 今後、補助制度の公平性と利便性を高めるために、アンケートの実施など、制度の改善に向けた具体的な取り組みを検討されているか、伺います。</p>	町長
		2. 海洋深層水の活用拡大による地域経済及び観光振興について	<p>本町では、海洋深層水の取水を行い、海洋深層水研究所を拠点として配管配水が実施されており、これにより雇用創出や人口対策等、一定の経済的波及効果が見られているところです。今後、さらにこの海洋深層水を、本町の観光振興地域として位置づけられているイーフ地区まで配管・供給することで、ホテルや商業施設などの事業所において新たな利活用の可能性が広がると考えます。これにより、地域産業の多角化および観光資源としての付加価値向上が期待されます。また、かつて奥武島で観光客に人気のあった「パーデハウス久米島」についても、現在は閉館となっており、今後の観光振興策として再検討すべき時期にあると考えます。なお、奥武島の「パーデハウス久米島」については、町が再開に向けて公募を行っている状況にあり、その公募の進捗や応募状況も含めて、今後の活用方針の一環として町の見解を伺います。</p> <p>(1) 海洋深層水の経済効果と将来展望について ・これまでの海洋深層水を活用した事業の経済波及効果、雇用・人口対策への貢献の評価は。 ・将来的に他地域への供給拡大や産業連携を図る意向はあるか、伺います。</p> <p>(2) 海洋深層水のイーフ地区への供給について ・現在の配管状況およびイーフ地区までの延伸に伴う課題は何か、伺います。 ・今後の実現に向けた町の検討と方針は。</p> <p>(3) パーデハウス久米島の現状と再活用について再開や他用途での再活用を検討しているか、伺います。</p>	

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者
5	真栄平 建正	3. 支援員の待遇改善について	<p>近年、児童生徒への学習支援や特別支援教育の充実に向けて、支援員(学習支援員、特別支援教育支援員)の果たす役割がますます重要となっております。しかしながら、本町においては、支援員の処遇面において課題があると認識しております。支援員の方々が安心して長く働ける環境を整えることは、子どもたちへの支援体制の安定化につながり、教育の質を高めることにもつながると考え、以下の点について町の見解を伺います。</p> <p>(1) 支援員の配置状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、町内の小中学校における支援員の配置状況はどのようになっているか。 ・学校現場からの要望に対し、配置数は充足しているのか、伺います。 <p>(2) 支援員の雇用条件について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員の報酬水準、雇用形態(雇用期間、勤務時間等)はどうなっているか。 ・他自治体と比較して、待遇に格差がある場合、その是正について町はどのように考えているか、伺います。 <p>(3) 待遇改善に向けた町の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員の報酬引き上げや、契約更新制度の見直しなど、待遇改善について検討している施策はあるか。 ・離島という特性を踏まえ、人材確保・定着を図るために、町独自の支援策(住宅補助、交通費支援等)の導入を検討できないか、伺います。 <p>(4) 研修とスキルアップ支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員に対する研修機会の提供状況はどうか。 ・教員や他の専門職との連携体制づくりを含め、今後どのような育成体制を構築していく方針か、伺います。 	
		4. 久米島町空き家対策について	<p>久米島町では、空き家の増加が進む一方で、特に若年層や移住者を中心に住居不足の声が上がっており、町の将来を見据えた持続可能な住宅政策が求められています。そこで、以下の点について町長にお伺います。</p> <p>(1) 空き家調査の目的と成果について</p> <p>本町では多額の費用をかけて空き家調査が実施されておりますが、その調査の目的、内容、そして得られた具体的成果について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何年度にどのような手法で調査が行われたのか、調査委託料は ・調査によって把握された空き家の数、状態、所有者情報(生存死亡等)について、伺います。 ・これらのデータは町のどのような政策・施策に活用されているのか、伺います。 <p>(2) 空き家の利活用実績と課題について</p> <p>これまでの空き家の利活用について、どのような実績があるのか、またそれに伴う課題は何か、又その対応策を伺います。</p> <p>(3) 住居不足との関係と空き家の活用戦略について</p> <p>現在の住居不足としての空き家活用と空きアパートのギャップをどう認識し、どのように埋めていくお考えか伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アパートの空き状況調査、賃貸化促進などの施策は検討されているか ・町として、空き家を住宅として活かすためのロードマップはあるのか、伺います。 	

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者
8	盛本 實	1. 本町の職員数について	先般の、新聞報道等によれば、渡名喜村が職員不足の補充を県、民間企業からの出向で補っているとの事である。2025年度には定数の約半分まで減少する可能性があるという事でかなり深刻な事態に直面しているのが実情である。同じ離島で、人口減少の課題を抱えている本町の実態について伺います。	町長
		2. 本町に存する自衛隊専用道路（通称）の民間使用について	道路の種類は大きく道路法上の道路とそれ以外の道路に分けられます。道路法上の道路は ①高速自動車国道 ②一般国道 ③都道府県道 ④市町村道 の4種類あります。それ以外に、私道や農道、林道、里道、他法律で定められた道路（道路運送法の道路や港湾法の道路）などがありますが、本町内に在る自衛隊専用道路（通称）はどの部類に属するのか？ (1) 同道路の性格は？ (2) 専用道路であれば、自衛隊以外は利用できないのか？ (3) 現状として町民の利用も多く見受けられるが、専用使用権者の黙認なのか？ (4) 道路の起点終点は？	町長
		3. 離島・過疎地域振興に関する要望事項に対して県の関係機関の措置状況及び今後の取り組みについて	昨年度、町長は次の項目について、南部市町村会を通して県の関係機関に要望している。 (1) 海洋深層水大規模取水設備等の新設実現 (2) 久米島への航空燃料給油施設の整備について (3) 兼城港拡張整備について (4) マリーナの整備について (5) 居住離島市町村での出産が困難な妊産婦及び難病患者の宿泊施設の整備について (6) 松くい虫対策について (7) 舎監の配置について (8) 県営住宅の整備について (9) 医師確保について 県の各機関の措置状況について教えてください。その措置結果に対して町長はどのような取り組みを行ったのか、あるいは取り組もうとしているのか伺います。	町長

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者
12	赤嶺 秀徳	1. 観光振興について	<p>令和7年度の施政方針における所信表明のなかで入域観光客数が令和5年度実績で約9万人、コロナ禍以前と比較すると9割程度まで回復している。令和6年度に策定した第3次久米島町観光振興基本計画の基本理念である「持続可能な島の未来をつくる共創ツーリズム」に向けた施策に取り組むことで、更なる誘客を図るとしています。3点伺います。</p> <p>(1) 令和6年度の入域観光客数は何名か伺う。 (2) 共創ツーリズムに向けた取り組みの推進状況を伺う。 (3) 令和7年度の入域観光客数の目標値を伺う。</p>	
		2. 第3次久米島町観光振興基本計画について	<p>本計画では、観光関連事業者や観光協会、経済団体、行政に加え、町民や来訪者も関わり合いながら、島ぐるみで観光振興を推進していくとしていますが、2点伺う。</p> <p>(1) 具体的な活動計画の策定は立っているか伺う。 (2) 本町の観光振興を主導するのは行政か観光協会か伺う。</p>	
		3. 高速船について	<p>所信表明で本年11月には民間による高速船の就航が予定されている。兼城港ターミナルへの観光案内所の設置や観光地の環境整備、さらに二次交通などの課題解決に向けて取り組む。インバウンド受け入れ対策として、国際交流員を配置し、PR戦略の強化や多言語対応、外国人観光客へのサポート体制を整える。としています。6点伺う。</p> <p>(1) 観光案内所設置の具体的な計画について伺う。 (2) 国際交流員配置の具体的な計画について伺う。 (3) PR戦略と外国人観光客へのサポート体制構築の具体的な対策について伺う。 (4) 二次交通対策の課題に向けた対策について伺う。 (5) 駐車場整備についても急務だと思うがその対策について伺う。 (6) 二次交通の課題に向けた取り組みについて伺う。</p>	

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者
7	保久村 登	1. 「阿嘉のひげ水」(一帯の地層・阿嘉層)について	<p>「阿嘉のひげ水」は、400万年から200万年前にかけて堆積したとされる大規模な大陸河川起源の地層といわれている。河口付近にできるとされる大規模なクロスラミナがあることから、「阿嘉のひげ水」付近が河口であったと考えられる。また、琉球大学などの研究チームにより、この地層と同じ堆積岩が久米島北西沖の沖縄トラフから採取されており、当時久米島から沖縄トラフ側にかけて大陸河川起源の地層が広く分布していたことがわかる。</p> <p>このように考えていくと、「阿嘉のひげ水」一帯の地層とクロスラミナは久米島の成り立ちについて壮大なロマンを掻き立てる貴重な自然遺産だということが分かる。</p> <p>そこで、</p> <p>(1) 「阿嘉のひげ水」一帯の地層及びクロスラミナの学術的意義、自然遺産(天然記念物)としての価値について、博物館長の見解を伺いたい。また仲里村時代に天然記念物に指定された「イッカチ(魚垣)との関係についてもご教示頂きたい。</p> <p>(2) 同じく、教育資料としての価値、活用策(久米島の成り立ちについての指導の実態)について、教育長の見解を伺いたい。</p> <p>(3) 同じく、観光資源としての価値、活用策(案内表示等は適切かなど)について町長の見解を伺いたい。</p>	教育長 博物館長
		2. 真泊港の整備活用について	<p>5月1日、真謝沖に大型クルーズ船が停泊していた。真泊港に入港できないためとのことである。そこで、真泊港の埠頭を大型クルーズ船が入港できるような規模にした上で、旅客ターミナルを整備すれば、これまで久米島観光に消極的だったクルーズ船も呼び寄せることができるし、近いうちに就航予定の高速船の寄港地としても活用できる。観光振興に有益だと考える。町長の見解を伺いたい。</p>	町長
		3. 真謝地区の農業用水の確保について	<p>真謝地区では、畑にスプリンクラー設備もなく灌漑用水路も整備されていないため、農家は、本庄池の水をパイプラインで旧簡易水道跡のタンクに引き込み貯留して、灌漑用として利用している。</p> <p>ところが、上記パイプラインは経年劣化による腐食が激しいため、頻繁に部分断裂や接続箇所損傷を繰り返しており、農家の畑作経営に著しい支障を及ぼしている。</p> <p>また、上記設備は字真謝の所有であるため、字真謝は、その都度、字の負担で応急措置を講じざるを得ず、字の財政に著しい負担を強いている。</p> <p>そこで、上記問題点を解決し、地域農業の安定経営を実現するために、久米島町において、上記農業用水貯留施設及びパイプラインを設置するのが相当と考える。町長の見解を伺いたい。</p>	町長

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者
6	幸地猛	1. 町民所得について	(1) 沖縄県統計課は2022年度の一人当たり市町村民所得(県民所得)を発表した。市町村別にみると久米島町は1,977千円で県内市町村中38位で、対前年度比の伸び率も△3.0%となっている。2021年も県内41市町村中35位であった。昨年の答弁では、基幹産業である農業・漁業のさらなる振興に加え観光産業との連携や情報通信技術、ICTの導入生産品の高付加価値化を推進する必要があるということでした。その具体的な取り組みについて伺う。 (2) 所得水準と人口減少は関係があり、所得水準が低い地域ほど人口減少に歯止めをかけるのが難しいと言われている。町の人口減少対策の取り組みについても伺う。	町長
		2. 上水道事業について	(1) 上水道事業について、施政方針では水源施設や上水道などの施設の適正管理に努めます。今後10年間の新たな上水道基本計画を策定し、既設の水道施設や設備について計画的な更新を図ってまいりますと言う。計画的な更新について伺う。 (2) 沖縄県水道広域化推進プランにおける久米島町の取り組みについて伺う。 (3) 近年では、全国的に水道管の老朽化が深刻な社会問題となっている。水道管には「ポリエチレン管」、「塩ビ管」、「ヒューム管」などがあり、これらの法定耐用年数は約40年間とされている。耐用年数を過ぎた水道管は汚れや赤さびが発生し、水道水を汚染する恐れがあり、さらに、時間が経つと水道管に穴が開き、水漏れを引き起こす可能性があると言う。久米島町の水道管も老朽化が進んでないかどうか、その現状と対策について伺う。	町長
		3. 道の駅について	(1) 全国各地の「道の駅」では地域の創意工夫により「道の駅」を地域活性化の拠点として活かす取り組みが進展してきている。地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上にも貢献している。「道の駅」について町の考えを伺う。 (2) 道の駅は地産地消の拡大にも繋がっていくと思うが、町の取り組みについて伺う。	町長
3	喜久里猛	1. 伊敷索城址の今後はどうするか	あまりにも大きな災害で行政も苦慮していると思うが今後どうするか。 (1) 工事の方法は (2) 予算はとれるのか (3) そのままにするか	
		2. 花咲港の新パースは使用の予定はあるか	(1) 新パースについては県から移管されたか。移管されていた場合どう使用していくか。新規の貨物船が使用する予定はあるか。 (2) 内側のパースの舗装工事の予定はあるか。	
		3. 大田の離岸堤改修工事はどうなっているか	(1) ガラサー山と福祉センター間の堤防工事の改修予定はいつになるか。 (2) 堤防工事後全く改修されていない。	
4	喜久里強	1. 本町の海岸線の漂着ゴミについて	(1) 本町の海岸線全域において漂着ゴミが目立ち、飛行機からも確認できるほど多い。町として今までどのような対応をしてきたか。 (2) 今後の対策を伺う。	町長
		2. 本町における慢性的な人材不足について	全国的な問題でもあるが、特に離島地域において人手不足が加速している。本町も例外ではない。特に飲食、介護等サービスなどが著しい。そこで本町としてどのような対策をするか伺う。	町長

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者
11	宇江原総清	1. 鳥島射爆場と政治	<p>今なお続くイスラエルによるガザ地区の病院等への空爆、食糧物質阻止している生映像。ホロコーストの歴史を持つイスラエルは、骨と皮の赤子等餓死寸前の実像を見るにつけ、ジェノサイド、ホロコーストが浮かぶ。70数年前からイスラエルによるパレスチナ侵略以来続く。アメリカとの共犯歴史も見える。翻って、アメリカが統治支配の沖縄も80年になる。その間沖縄において何が起きたのか検証すべきだ。私もアメリカ軍キャンプハンセンを抱える金武交番に勤務。19歳から3年、内2年間はベトナム戦争。金武村では2件の殺人事件。アメリカ軍の疑いがあるものの暫くすると本国へ帰国。兵隊のLSD覚醒剤での保護も度々。そのような歴史の中で日本の政治家は台湾有事を挑発するような発言をしている。私が以前から言っているように「台湾有事はアメリカは武器を売っても兵隊の参戦はない」と言ってきた。これを裏付けるようにアメリカの国防長官ヘグセスは「台湾有事は日本が立つ事になる」と発言した。そのようなプロセスから質問する。</p> <p>(1) 台湾有事の際には嘉手納基地に貯蔵されている40万発の劣化ウラン弾を使用するとみる。</p> <p>(2) 今でも劣化ウラン弾は打っているとみる。なお8年程前から同鳥島に250キロ以上の大型爆弾を打ち込む音等はない。</p> <p>(3) 本町のガンによる死者数と地区別疫学調査及び同島周辺における放射性物質の調査（学者専門家等による）</p>	
		2. 自然再生について	<p>(1) 今や山・川・海の運動と豊かな海等が自然破壊されている。特に銭田川は県と調整、ボトムアップのうえで河川造りを設計した。しかし予定の河川の半分は三面コンクリートにした。これは自然再生推進法の趣旨に違反している。町長はこのことについてどう思っているのか。</p> <p>(2) 兼城港と白瀬川の自然再生についても配慮していただきたい。兼城港についてはコンクリート護岸を撤去し、白瀬川から流れる豊かな水を海へ流す工法をとるべきである。千鳥足状にしたうえで、港内のヘドロを使い海浜の樹木を植栽すべき。更には、湾・白瀬川に接続する元のと殺場跡地を含めて、ヨットハーバーやヨットレース場を建設したらどうか。</p>	
		3. 宇根・真謝の県道の街路樹管理について	<p>同道路の街路樹の危険性について12月定例会に質問した。内容は私が1,300mにわたり枝打ちしたとの質問に対し町長は「質問の区間はボランティアの協力で管理している」と答えた。どこのボランティアか。このボランティアはどこの枝打ちをしたのか伺う。</p>	

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者
10	新垣幸子	1. 防災意識を高める講座の開催について	東日本大震災や能登半島沖地震などの教訓を生かし地域の地形の特徴を解説したり、日頃の備えについての講座の開催を要望したいが、ご見解を伺う。	町長 総務課
		2. 職員の意識向上改革について	組織の成長と発展を促す上で不可欠な要素となりますが、2点伺います。 (1) 島内外の職員研修について、令和6年度に実施した件数及び内容と成果。 (2) 仕事の一環として、全職員を交替しながら約5日間、島内の事業所にて、職場体験をする機会を作ってみてはいかがでしょうか。(コミュニケーション能力を高め、現場で体験し気づきを得て、何が課題で何をすべきかを学ぶことができます。)	町長 総務課
		3. 島内老舗事業所への支援について	幾多の時代の大きな困難を乗り越えて長きに渡り、島に多大なる貢献をされてきました。特に地域の活性化や観光施策等に大きな役割を果たしております。心から感謝致します。さて、最近、人件費、材料費、包材、電気代等の物価高騰により、経営が厳しい状況の声も聞こえてきます。新規商品開発には、補助金がありますが、島内老舗事業所に対しても支援や補助金を要望したいですが、ご見解を伺います。	町長 商工観光課
		4. 平和教育の取り組みと戦争語り継ぎ手の育成について	戦後80年、戦争を直接体験した世代は少なくなってきた。沖縄戦、特に久米島の戦争の実相や教訓を正しく継承するために、行政や教育委員会の果たす役割は大きい。5点伺う。 (1) 現在、語り部や語り継ぎ手は、町内に何名の方が在籍されているか。 (2) 語り継ぎ手の養成講座は、考えているか。 (3) 町として、平和行政を施策の中心に取り入れるお考えはないか。また、戦後80年という節目に何か事業を計画しているか、町長に伺う。 (4) 学校の平和学習や修学旅行生への語り継ぎ手に対する講師謝礼金は1回いくらになるのか。 (5) 平和教育のあり方や今後の取り組みについて、どのようなお考えか、教育長に伺う。	町長 福祉課 教育委員会 教育課 博物館
1	棚原哲也	1. 町営バスについて	町では町営バスの運行管理を民間の事業者へ委託し、4月1日より新体制での運営になるとしている。3点伺う。 (1) 営業所は旧町営バス営業所を活用するのか。 (2) 民間事業者が担っていた観光バス事業も町営バス運営事業を受託した同じ会社が担うのか。 (3) 仲里球場北側の駐車場を使用している貸切、観光バスの駐車場の確保はなされているか伺う。	町長
		2. 奥武島の西海岸の環境保全及び国土の保全について	奥武島の西海岸はイーブビーチ方向に長く砂洲が伸びていたが、潮流の影響を受け海中道路の際まで砂洲が大きく移動している。防潮堤の設置等対策を取らないで防置するとすると陸域の浸食、航路への砂の堆積等で漁業活動への大きな支障をきたす。又、大型台風の襲来でフィッシャリーナ及び漁港施設に甚大な被害をもたらすことが思慮される。今後の取組方針を伺う。	町長
		3. 車海老養殖について	本町では漁協及び民間の3事業者が車海老の養殖を行っており、町では車海老の養殖日本一の産地と謳っているが、深層水を活用して行ってきた稚海老の生産及び供給体制の不調で、1事業所が休業状況に陥ってる。行政として現状を把握しているか。又、本町の水産業の主軸となって来た車海老養殖の立て直しをどう考えるか伺う。	町長

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者
2	富永 肇	1. プロ、アマチュア野球キャンプについて	本町は野球キャンプ地として多くのチームがキャンプを行っている。観光閑散期における野球のキャンプは経済効果が大きいと考える。県内他自治体も球場整備などに力を入れている。野球のキャンプ、大会等の誘致も積極的に行っている。本町も誘致の取り組みや施設整備に対応していかなければと考える。各チームとの繋がりや要望、課題等にどのように取り組んでいるか伺う。	町長
		2. 久米島町長杯JTA・RACメモリアルカップ、リトルシニア野球大会について	令和6年12月26日から29日の日程で開催しました。三年連続で本町にて開催して頂きました。参加チーム、家族やスタッフの数はかなり多く経済効果も大きい。リトルシニアの関係者との意見交換でも本町の野球環境は高い評価でした。今後のリトルシニア大会開催の見解を伺う。	町長
		3. 中学校部活動について	中学校における部活動は学校教育の一環として健全育成やスポーツ及び芸術文化等の振興を支えてきたと感じています。少子化が進展する中、これまでの運営体制では維持が難しくなっており、抜本的な改革と取り組みが必要と考えます。少子化等による、部活動の今後の運営方針を伺います。	町長
9	吉永 将志	1. 戦後80年の取組内容について	今年で戦後80年となる。事実を後世に伝え、平和を守っていくことが私たち大人の大きな役割と考える。この節目となる今年、本町の取組を伺う。	
		2. 結婚披露宴助成金について	(1) これまでの助成金の活用状況を伺う。 (2) これまで助成金を利用された町民からの意見や改善して欲しい部分を伺ってきたか。伺ってきたのであれば、どのような要望があったか伺う。	
		3. 久米島町結婚生活支援事業について	これまでの支援事業の活用状況を伺う。	
		4. 職員のパソコン技術向上の取組とオープンデータの推進状況について	(1) これまで行ってきた職員のパソコン技術向上への取組状況を伺う。 (2) オープンデータの推進状況を伺う。	
		5. シルバー人材センターについて	シルバー人材センター設立準備委員会が令和8年度4月スタートを目標に準備している。現時点で行った支援内容と今後決まっている支援内容を伺う。	